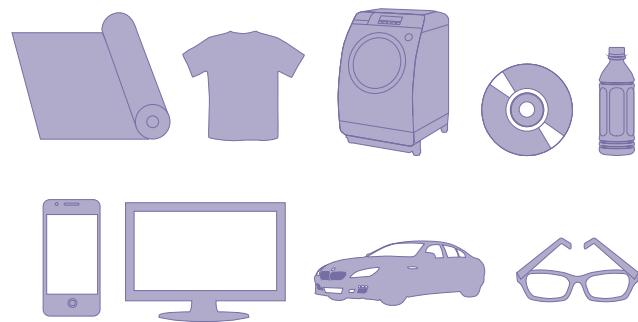


／／ そこにあるもの 使うもの
カワタの技術が生きています。 ／／



株式会社 **カワタ**

〒550-0011 大阪市西区阿波座1-15-15
TEL (06)6531-8211
URL <http://www.kawata.cc/>



KAWATA IR Report

株主のみなさまへ

第69期 報告書 [平成29年4月1日から平成30年3月31日まで]

株式会社 **カワタ**

証券コード 6292



さまざまな分野に貢献するカワタの機器&システム

医薬品
Pharmaceuticals



食品
Food



金属
Metal



プラスチック
Plastic



化粧品
Cosmetics



セラミック
Ceramic



カワタの理想的な粉粒体のハンドリング技術が、幅広い分野と多様なニーズに、お応えしています

KAWATA's ideal powder and particle handling technology meets the diverse needs of a wide range of field.



顔料
Pigment



液晶用光学フィルム
Glass for LCD



レンズ
Lens



建材
Construction materials



リチウムイオン 二次電池
Lithium-ion rechargeable battery

WEBサイトのご案内

<http://www.kawata.cc/>



TOP MESSAGE

3ゲン主義を実践し、お客様満足を実現する製品とサービスを提供していきます

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社の第69期報告書をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、今後ともなにとぞ倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成30年6月28日

代表取締役社長
白井 英徳



第69期財務ハイライト

売上高 **20,336** 百万円 前年同期比 **22.1%** 増

営業利益 **1,124** 百万円 前年同期比 **117.1%** 増

経常利益 **1,029** 百万円 前年同期比 **131.1%** 増

親会社株主に
帰属する当期純利益 **909** 百万円 前年同期比 **330.4%** 増

総資産 **22,210** 百万円

純資産 **8,665** 百万円

一株当たり
当期純利益 **128.44** 円

一株当たり
純資産 **1,202.61** 円

事業の概況

世界経済は緩やかに回復しておりますが、中東や朝鮮半島における地政学的リスクもあり、不安定な状況となっております。先進国におきましては、米国の自国第一主義に伴う貿易摩擦や英国のEU離脱問題等、先行きに対する懸念が存在しております。一方、中国をはじめとする新興国の経済成長率も先進国と比較すると高いものの、その拡大テンポは緩やかになっております。

わが国経済は、世界経済の変調や急激な為替・株価の変動に伴う影響が懸念される一方で、生産や設備投資は緩やかに回復を続けており、企業収益や業況判断も改善してきております。また、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ても、製造業の機械受注額は、平成29年4～6月は1兆797億円（前年同期比3.5%増）、7～9月は1兆1,467億円（同9.2%増）、10～12月は1兆1,873億円（同13.3%増）、平成30年1月は4,094億円、2月は4,423億円と、増加傾向が続いております。

このような環境下、当社グループは、プラスチック成

形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度における受注高は前年同期比55億6千7百万円増（同32.7%増）の225億8千7百万円、受注残高は前年同期比24億5千万円増（同53.0%増）の70億7千5百万円となりました。また、売上高につきましては、自動車関連や電子部品関連の需要が堅調に推移したこと等により、前年同期比36億8千2百万円増（同22.1%増）の203億3千6百万円となりました。

損益面では、売上高増加に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は前年同期比6億6百万円増（同117.1%増）の11億2千4百万円、経常利益は前年同期比5億8千4百万円増（同131.1%増）の10億2千9百万円となりました。

特別損益では2百万円以上の発生科目は無く、法人税、住民税及び事業税3億7千2百万円を計上し、法人税等調整額をマイナス2億5千9百万円計上したこと等

により、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比6億9千8百万円増（同330.4%増）の9億9百万円となりました。

今後の見通し

当社グループの主力納入先であるプラスチック成形加工業界は、国内外での激しい技術革新と品質・価格競争の中にあります。

当社グループでは、かかる環境下、コア事業におきまして、生産拠点（日本、中国、東南アジア）及び営業・サービス拠点（日本、中国、台湾、東南アジア、北中米）相互の連携を強固にし、品質、コスト、納期、アフターサービスでの競争力を一層強化することにより、グローバル化するユーザーニーズへ対応しマーケットシェアの拡大と収益力の向上を図ってまいります。株主の皆様への還元（配当または自己株式の取得）を充実させる一方で、高付加価値製品の開発や新規販売分野・地域の拡大、新規事業開発や戦略投資等にも積極的に経営資源を

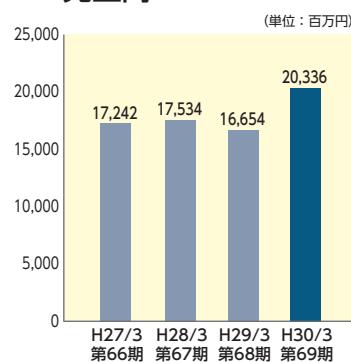
投下することにより、市場対応力のある企業として成長を続け、企業価値・株主価値を高めていくことを基本方針としております。中長期的には、株主資本と負債のバランスを適切な水準に維持しつつ自己資本利益率（ROE）を安定して8%以上確保できる事業構造の構築と、株主の皆様への総還元性向を安定して25%以上確保することを目標としております。

また、当社グループは、コーポレート・ガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底、人材の育成と強化等により、経営体質の一層の強化と透明性の向上を図ることを、経営上の重点課題と位置付けております。なお、コーポレート・ガバナンスの詳細につきましては、(株)東京証券取引所に「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」を提出するとともに、当社ホームページ（<http://www.kawata.cc/>）に、社是・経営理念、コーポレート・ガバナンス基本方針、社外役員独立性基準、グループ行動指針、環境理念と方針、経営方針、中期経営計画等を開示しております。

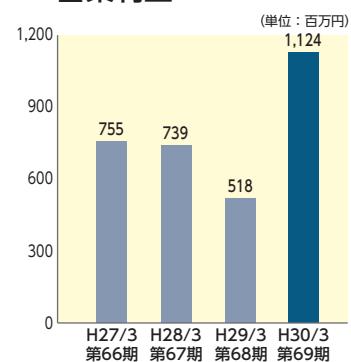
株主の皆様におかれましては今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト(連結)

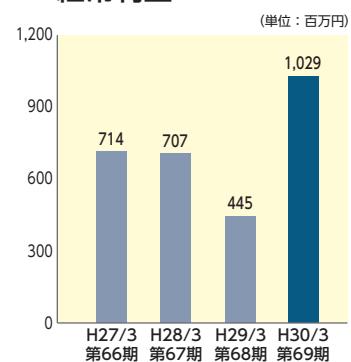
売上高



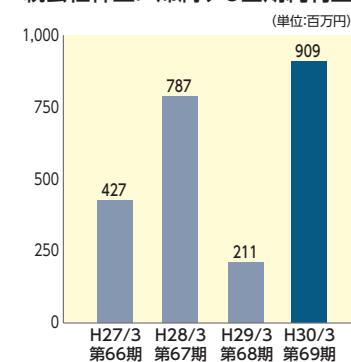
営業利益



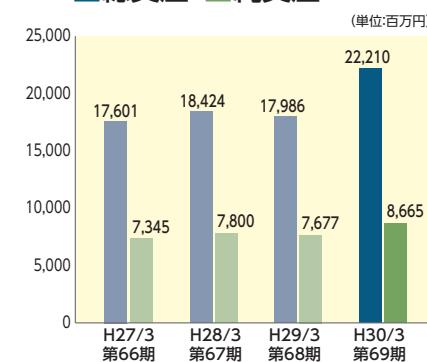
経常利益



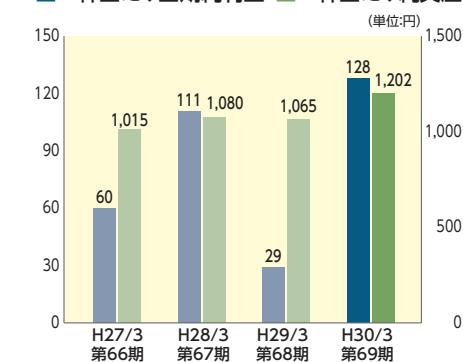
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産/純資産



一株当たり当期純利益/一株当たり純資産



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

区分	当期末 平成30年3月31日現在	前期末 平成29年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	16,518	12,433
固定資産	5,692	5,552
有形固定資産	4,454	4,417
無形固定資産	400	367
投資その他の資産	837	767
資産合計	22,210	17,986
【負債の部】		
流動負債	9,610	6,104
固定負債	3,934	4,204
負債合計	13,544	10,309
【純資産の部】		
株主資本	7,960	7,135
資本金	977	977
資本剰余金	1,069	1,069
利益剰余金	5,957	5,132
自己株式	△43	△43
その他の包括利益累計額	556	407
非支配株主持分	149	134
純資産合計	8,665	7,677
負債純資産合計	22,210	17,986

Point 1 流動資産

流動資産は、前期末に比べて、現金及び預金、受取手形及び売掛金、仕掛品、原材料及び貯蔵品が増加したこと等により40億8千4百万円増加し、165億1千8百万円となりました。

Point 2 固定資産

固定資産は、前期末に比べて、建物及び構築物、機械装置及び運搬具が減少しましたが、投資有価証券、繰延税金資産が増加したこと等により1億3千9百万円増加し、56億9千2百万円となりました。

Point 3 流動負債

流動負債は、前期末に比べて、支払手形及び買掛金、短期借入金、前受金が増加したこと等により35億5百万円増加し、96億1千万円となりました。

Point 4 固定負債

固定負債は、前期末に比べて、社債、長期借入金、繰延税金負債が減少したこと等により2億7千万円減少し、39億3千4百万円となりました。

Point 5 純資産

純資産合計は、前期末に比べて、利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したこと等により9億8千8百万円増加し、86億6千5百万円となりました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

区分	当期 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	前期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
売上高	20,336	16,654
売上原価	14,297	11,766
売上総利益	6,038	4,888
販売費及び一般管理費	4,914	4,370
営業利益	1,124	518
営業外収益	45	56
営業外費用	140	129
経常利益	1,029	445
特別利益	0	2
特別損失	1	40
税金等調整前当期純利益	1,028	407
法人税、住民税及び事業税	372	266
法人税等調整額	△259	△62
当期純利益	915	202
非支配株主に帰属する当期純利益又は純損失(△)	5	△8
親会社株主に帰属する当期純利益	909	211

Point 6 売上高

中国における自動車関連、電子部品関連の設備投資の増加のほか、タイ、インドネシアでの景気回復により、売上高が増加しました。

Point 7 売上総利益

売上高増加に伴う売上総利益の増加のほか、製造固定費単価の減少による利益率の改善により、売上総利益が増加しました。

Point 8 親会社株主に帰属する当期純利益

前期は東南アジアセグメントにおいて減損損失36百万円がありました。当期は繰延税金資産において回収見込額増加に伴う単年度の特異要因として230百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	当期 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	前期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△898	1,128
投資活動によるキャッシュ・フロー	△348	△580
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,369	△233
現金及び現金同等物に係る換算差額	55	△58
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	177	254
現金及び現金同等物の期首残高	4,213	3,958
現金及び現金同等物の期末残高	4,391	4,213

Point 9 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が10億2千8百万円となり、売上債権の増加21億4千7百万円、たな卸資産の増加8億3千7百万円、法人税等の支払額3億4千5百万円等の支出要因が、減価償却費3億2百万円、仕入債務の増加8億8千8百万円等の収入要因を上回り、8億9千8百万円の支出超過(前年同期は11億2千8百万円の収入超過)となりました。

TOPICS

東京証券取引所 市場第一部指定

平成30年3月1日、当社は東京証券取引所第二部から第一部に指定されました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係者の皆様からのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。今後も皆様のご期待にお応えできるよう、更なる業容の拡大と企業価値向上を目指して参ります。



IPF Japan 2017 (国際プラスチックフェア) 出展

会場：幕張メッセ
 日時：平成29年10月24日(火)～10月28日(土)
 主催：国際プラスチックフェア協議会

規模：778社・団体、
 出展小間数2,438
 来場者数：43,676人



乾燥監視をはじめ、IoT関連技術をメインに展示・ご紹介し、盛況のうちに終了いたしました。



「脱湿乾燥機 Challenger III」最新技術を搭載して更に進化した脱湿乾燥機 (DFB-25Z)。

カワタグローバルネットワーク



国内 主な事業所

本社	大阪市西区	静岡営業所	静岡市駿河区
大阪営業所	大阪市西区	名古屋営業所	名古屋市東区
仙台営業所	仙台市太白区	広島営業所	広島市南区
北関東サービス	群馬県高崎市	九州営業所	福岡市博多区
埼玉営業所	埼玉県川口市	三田工場	兵庫県三田市
東京営業所	東京都中央区	東京工場	埼玉県川口市
南関東営業所	神奈川県厚木市	大阪工場	大阪市西成区
.....			
(株)サーモテック	大阪市西成区		
エム・エルエンジニアリング(株)	静岡県藤枝市		
(株)レイケン	東京都中央区		
(株)カンゲン	東京都中央区		

会社情報

会社の概要 (平成30年3月31日現在)

商号	株式会社カワタ (KAWATA MFG. CO.,LTD.)
本社	〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目15番15号
設立	昭和26年7月13日
資本金	977,142,640円
従業員数	238名 (連結808名) (役員 出向社員 パート 嘱託は除く)

役員 (平成30年6月28日現在)

代表取締役社長	白井英徳
常務取締役	白石 互
取締役	柴孝幸
取締役	藤坂祐宏
取締役	高塚雅博
取締役常勤監査等委員	城豊治
取締役監査等委員	伊藤芳伸
取締役監査等委員	石田章
取締役監査等委員	飯塚一雄

株式情報

(平成30年3月31日現在)

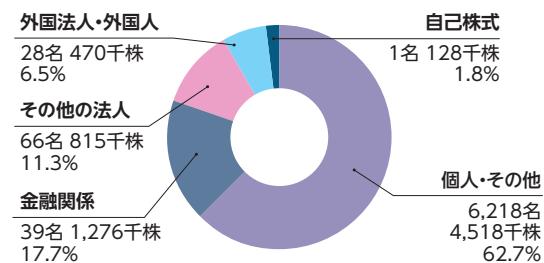
発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	7,210,000株
単元株式数	100株
株主数	6,352名 (前期末比948名減)

大株主の状況

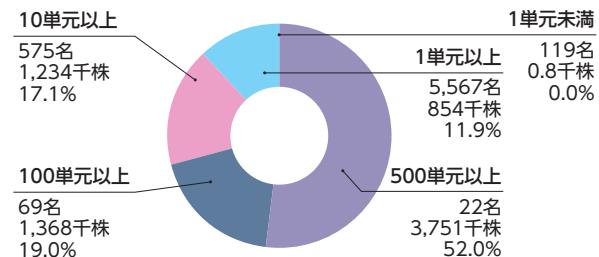
株主名	持株数
カワタ 共伸会	794,700株
カワタ 従業員持株会	380,680株
(株)三菱東京UFJ銀行	351,000株
高塚 雅博	350,000株
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	208,900株
高塚 順	150,000株
川田 昌美	149,442株
川田 修弘	144,774株
日本生命保険相互会社	110,700株
明治安田生命保険相互会社	110,000株
大阪中小企業投資育成(株)	110,000株

(注) 1. 上記のほか、自己株式が128,216株あります。
2. (株)三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で(株)三菱UFJ銀行に商号変更しております。

所有者別分布表



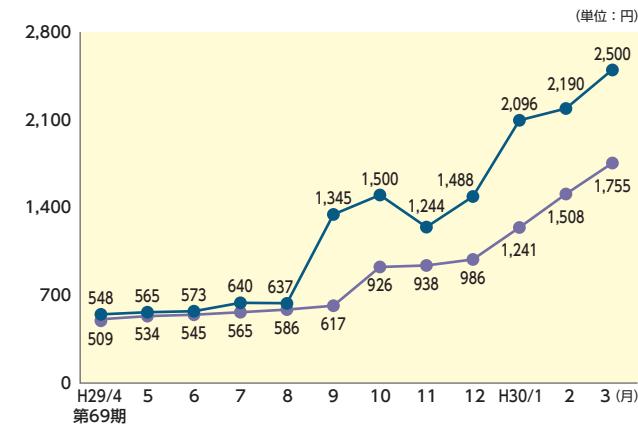
所有株式数別分布表



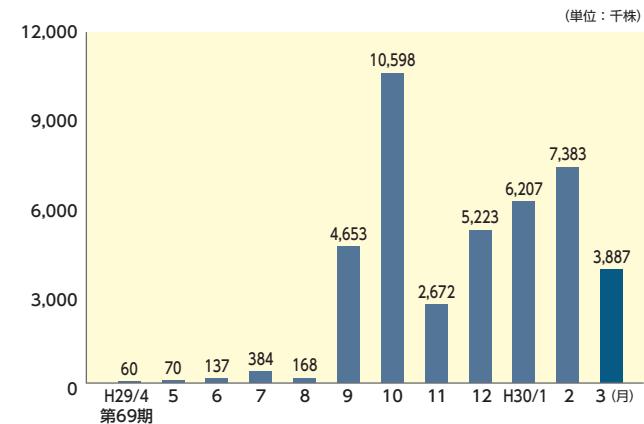
株式情報

株価チャート

株価(高値・安値)



株式出来高



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎0120-094-777 (通話料無料)

公告方法	電子公告 ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
当社ホームページ	(http://www.kawata.cc/) に掲載

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
会計監査人	新日本有限責任監査法人

(注) 新日本有限責任監査法人は、平成30年7月1日付でEY新日本有限責任監査法人に名称変更となります。

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。